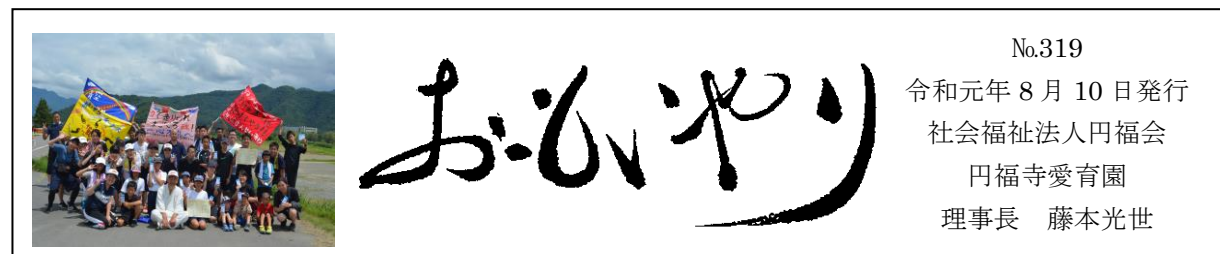


暑さに負けず、みんなで走り抜きました。次はキャンプへ向けチーム一丸に！！



3時間リレーマラソン

理事長 藤本光世

施設対抗球技大会がなくなり、7月の行事がなくなりました。球技大会があるときは、4月にチームの発足式をして、連休の頃から毎日練習に取り組んでいました。勝利に向けて、子どもたち全員が一生懸命でした。

70周年記念誌「子どもたちのために」の69ページに中島氏が夏休みになると毎朝4時に起きて、通明小学校のグラウンドに練習に行ったことを書いています。愛育園には球技大会に向けて全力で取り組む昔からの歴史と伝統がありました。

行事がなくなると、愛育園の生活に目標がなくなり、子どもたちは暇になります。「俗人閑居して不善を為す」は至言であり、その通りなのです。朝の挨拶はしなくなり、おまいりに出ない子が出始め、おまいりの声は小さくなり、少しずつ少しずつ生活が悪くなり、雰囲気が悪くなりました。子どもの問題行動や職員とのトラブルも起きるようになりました。

子どもとの間がどんなに大変でも、全員が本気で取り組む行事を入れなければならないと、強く思いました。そして職員を励ました。

どんな行事が良いでしょう。愛育園の子どもたちはよく走ります。9月の運動会の準備に8月の盆明けになると千曲川の堤防上（土手）を岩野橋まで毎日走ります。約3キロです。小学生は川流れのお地蔵さままでの約2キロです。練習の成果で施設対抗運動会のマラソンでは、大勢の子どもたちが上位に入り表彰されました。平成28年に松本で開催された5時間リレーマラソンでは優勝しています。安曇野リレーマラソンにも参加しています。この経験を生かして、リレーマラソンをやりたいと思いました。

横田の河川敷には大きなグラウンドがあります。そのグラウンドの周囲を回る約1.6キロのコースを見つけました。土手の上から走っている選手が見えます。応援できます。このコースを使おうと思い、石崎早織主任保育士に軽トラに乗ってもらって確認しました。後は、リレーマラソンの大家の近藤誠志郎指導員兼保育士に任せればできます。

5月の末から練習が始まりました。子どもたちのタイムが伸びます。いろいろと事件はありましたが、みんな毎日一生懸命に走っていました。走ったあと倒れ込む子もいましたよ。

私からは旗の作成をお願いしました。大きな旗を作って、それを振って応援することができれば、選手の力となり、チームの団結の表徴となるでしょう。それぞれのチームカラーを表した良い旗ができました。

男子のチームは、中高生チームと職員チームの対抗戦をお願いしました。中高生と職員が本気になって対抗すれば、子どもたちと職員の間関係が深まると思ったのです。子どもたちは本気になるだろうし、職員は勿論本気です。どちらが勝つか、とっても楽しみでした。女子のチームは、小学生と中高生の対抗戦です。双方に職員が加わりました。

優勝チームに金メダルを用意しました。良く練習を頑張った子どもに敢闘賞の銀メダルを用意しました。こうして、当日を迎えました。

当日は、抜きつ抜かれつの大接戦でした。みんな本気でした。時間が経つにつれて、これは総力戦と思いました。一人で何周も走らなければなりません。走力と体力とチームワークが必要です。何周も走っている子どもたちの姿に、驚きました。職員もよく頑張りました。

結果は職員や子どもたちの文をご覧ください。

初めての開催で、準備が遅れてしまいました。前々日に開会式の場所と進行を確認して、パンフレットの作成を思いつきました。前日の午前中に作ってくれた山田忍指導員兼保育士、ありがとうございます。パンフレットがあれば、ご来賓においでいただかなければと、前日のお昼ごろに、通明小学校長、篠ノ井東中学校長、西横田の長栄会、第三者委員、円福会役員、支援者の皆さまにお願いしました。急なお願いであったにもかかわらず両校長先生はじめ、大勢の皆さまにおいでいただき、子どもたちの頑張っている姿を見ていただき、本当に有難うございました。

来年は第2回大会を開催して、愛育園の行事として定着させたいと思います。今年は7月13日開催だったので、暑さが心配でした。梅雨が伸びて気温が上昇しなかったのが幸いでした。来年はもう少し早い時期の開催を目指したいと思います。

本当にいろいろなことがあった一学期でした。でも子どもたちは落ち着いてきました。

リレーマラソンを終えて、子どもたちはキャンプモードです。



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

主任保育士 石崎早織

新年度がスタートし早いもので3か月が経ちました。毎年4月5月は子どもたちも新しい学校、新しい学年、新しいクラスに慣れるまで生活も少し落ち着きがなくなってしまう。また一学期は園の行事も少ないため、子どもたちの目標になるものがなかったのもあり、理事長Tからリレーマラソンをやってみよう！と提案をいただき、7月13日に第1回円福杯リレーマラソンを開催することになりました。

6月から大会に向け約1か月半の練習を行ってきました。又今回の大会に向け新しいコースを作ってもらい1周1.6キロコースを走りました。いつもの練習コースとは違い、砂利道もあったため走りづらかな、と心配していましたが、子どもたちにとってはそんなこと関係なく日々自己ベストを更新するべく、暑い日も全力で練習に取り組んでいました。大会までの練習期間が長かったこともあり、途中気持ちがきれてしまわないか心配でしたが、大会当日のチーム発表をし、チームでミーティングや応援の旗を作り、そこからさらにモチベーションを上げ、大会当日を迎えることができました。

大会当日、どことなく緊張している表情をしている子どもたちも多く、チームのために早く走りたいという気持ちがひしひしと伝わってきました。スタート前に各チームで円陣を組み、気合を入れて第1走者がスタートしました。みんな他のチームに負けたくない一生懸命走っており、今までに出したことの無いベストタイムを出す子どもがたくさんいました。また走っている選手はもちろん、順番を待っている子どもたちも走り終わった子のサポートをしたり、一生懸命旗を振って応援しており、みんなが心をつなげて頑張っていました。職員もそれぞれのチームに入り、チームの一員として走りましたが、子どものパワーのすごさには本当に敵わないと思いました。私も一周走りましたが、一周だけでもヘトヘトになってしまいました。

どのチームも最後まであきらめず3時間を全力で走ることができ、円福杯リレーマラソンは大成功で終わることができました。職員と子どもたちが一丸となることができ、本当に良い行事になりました。次は戸隠キャンプ行事です。子どもたちの心に残るような行事になるよう頑張りたいと思います。

第1回円福杯3hリレーマラソン大会

まごころホーム 宮澤徳香

今年の梅雨は雨が多く天候が心配されましたが、薄曇りで吹く風が気持ち良い『第一回円福杯3hリレーマラソン大会』となりました。このマラソン大会に向けて、子どもたちは暑い日も風の強い日も練習に励んできました。日ごとにタイムを更新していく子どもたちは、自信をつけているように感じました。

(令和元年8月10日発行 月刊「円福

本番当日、チームで円陣を組み、3hリレーマラソンがスタートしました。スタート前は緊張した様子の子供たちでしたが、自分の走る順番が来ると練習した成果を出そうと、全力で走る気持ちがみなぎっていました。また、河川敷を走っているチームメイトに堤防の上から一生懸命声を掛け、応援する姿がありました。走り終えたチームメイトに積極的に飲み物を渡し、ねぎらいの言葉をかけるなど、子どもたちのおもいやりが心が温まりました。練習の時よりもタイムを更新する子どもたちがたくさんいて、私も負けじと全力で走りました。走っている最中、堤防の上から届く子どもたちの大きな声援に励まされ、力になりました。子どもたちも、職員も全力で手を抜かず本気で取り組むことができました。

大会後は祝賀会が行われ、調理の先生が美味しいお肉や冷たいデザートを用意して下さり、子どもたちと美味しく、楽しくいただきました。「先生、私2周走ったんだよ。」「練習より速く走れたんだ！」と嬉しそうに話してくれた子どもたちに、私も嬉しい気持ちになりました。

達成感と充実感のある第一回目の円福杯3hリレーマラソン大会は大成功だったと思います。

第1回円福杯3hリレーマラソン大会

あおぞらホーム 金井雄大

7月13日、リレーマラソンがありました。職員は「あおぞらチーターズ」というチームで走りました。

私は3時間の中で2周しか走ることができませんでした。最初に走った一周はペース配分を考えずに走ってしまい、走った後はテントの下で横になっていました。そんな時、小学生のR君はコールドスプレーを持



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ってきて、足や背中にかけてくれました。自分のことだけでなく、周りの人にも目を向け心配して、行動に移せるのは素晴らしいことだと思いました。その後体調も回復し、もう一度走りましたが、タイムは1分以上落ち全然ダメでした。

3 時間も長い間リレーを行い、みんな疲れていましたが、そんな中でも自己ベストをどんどん更新する子がいたり、旗を振って仲間を応援する子がいました。最終的な結果はラスト一周で中高生チームが職員チームとの差を広げ、中高生チームが優勝しました。

来年は、もっと練習に参加し、子どもに負けなくらい走れるよう頑張りたいと思います。

第1回円福杯3時間リレーマラソン

あおぞらホーム 近藤誠志郎

7月13日(土)に円福寺愛育園で、初めての試みとなるリレーマラソン大会を開催しました。外部のリレーマラソン大会にはこれまでも出場をしてきましたが、今回は愛育園内で作り上げる大会としました。大会に向けての練習は6月の初めから開始しました。練習場所は園近くにある千曲川河川敷を走る約1.5kmのコースです。このコースは坂もあったり、砂利道もあったりと距離以上に疲れやすいコースとなっています。そのコースを走る練習を週に5回行いました。練習を重ねると子ども達はどんどん速くなっていきました。大会当日のチーム編成は一方はあおぞらの小学生1人を加えた中学生・高校生の男の子達チームとあおぞらの職員とが、もう一方は小学生のチームとまごころの中学生・高校生たちがそれぞれ戦うというチームの分け方としました。大会前後は梅雨の時期とあり、天候が心配されましたが、当日は晴れてくれてお昼前には暑さを感じる天候となりました。スタート前には開会式を行いました。開会式には小学校、中学校の校長先生、愛育園を支援していただいている西横田の方々に来ていただき、盛大に開催することができました。午前9時に園長先生の号砲で第一回円福杯リレーマラソンがスタートしました。レースはあおぞらチームと職員チーム、小学生チームとまごころチームがそれぞれデッドヒートを繰り広げました。抜きつ抜かれつの争いで大盛り上がりです。あおぞらチームの中学生のK君やH君、O君は大会当日になって自己ベストを更新する走りを見せており、職員チームも必死になって食らいつきます。今回のリレーマラソンでは各ホームの職員も全員参加で、全力で走りました。そんな職員の頑張りもあり、3時間がもうすぐ経過しこれが最終周回になるというところで、なんとあおぞらチームと職員チームとが同時にタスキリレーをするということになりました。最終走者は中学生のK君と石龍先生です。半分ほどまで横一線で走っていましたが、最後の最後で子どもたちの底力が勝り、勝負はあおぞらチームの勝利で終わりました。小学生チームとまごころチームも接戦で同じ周回数での勝負でしたが、小学生チームの勝利でレースは終了となりました。その後の閉会式でのみんなの疲れた顔とやり切った達成感にあふれた表情が印象的です。また、昼食は調理の先生方が焼肉とかき氷を用意してくれており、みんなで楽しく食べることができました。この大会当日まで一カ月以上の練習

(令和元年8月10日発行 月刊「円福」467号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

期間があり、みんなの頑張っている姿をたくさん見ることができ、良い行事にすることができたと感じます。ご協力していただいた方々、応援に来て下さった方々、ありがとうございました。

3時間リレーマラソン大会 児童感想 あおぞらホーム

このまえあいにくえんのリレーマラソンがありました。自分のチームは、まごころチームとしようぶしました。ぼくがあんかーでした。自分のチームはまごころチームにかちました。自分のおかげではなく、みんながほかのチームのマネージャーをしたり、みんなぜんりよくやおうえんを、ほかのチームよりやったからかったんじゃないかとおもいました。

(小4 S・N)

7月13日の午前中に愛育園リレーマラソンがありました。ぼくたちのチーム名はあおぞらteenagegroupです。ぼくは第二走者です。最初は負けている時にタスキがわたされました。前と少し差をちぢめました。半分くらいまでは負けていたけど4周目の時に山田tをぬかしました。そして、3分以上差をつけました。そして最後のランナーがK君と石りゅう先生の勝負になりました。最初らへんは石りゅう先生がかっていたけど、K君がぬかしてくれました。最後はさをつけてゆうしょうしました。表しょう式の時にメダルをかけてもらいました。お昼は肉とかきごおりを食べました。とてもおいしかったです。佐々木先生のとなりで食べました。とてもいい日になってよかったです。

(小6 Y・Y)

7月13日に第一回3時間リレーマラソンをやりました。約1ヶ月練習をしましたが、5分台という大きな壁を壊せず、チームの足を引っ張ってしまうのではないかと思いました。大会当日、僕はあおぞらteenagegroupで出場しました。開会式になってから緊張してきて、職員チームに勝てるかとても不安でした。そして始まりの時がきました。4番目を佐々木先生と走りました。とても差がひらいていましたが、じょじょに縮まり練習では壊せなかった5分台という壁を壊すことができました。そして、自分に自信が持てるようになりました。2回目では体が重く、6分20秒という記録でしたが、チームのみんながそれを支えてくれて嬉しかったです。とても接戦の中職員チームに勝つことができました。ぼくは信じられないほどに驚きました。皆と協力して優勝することができたのでよかったです。

(中2 H・A)

3時間リレーマラソン 児童感想 まごころホーム

7月13日は、第1回リレーマラソンがありました。まず最初に、入場行進の練習をしました。私は、小学生チームのキャプテンだったので、旗を持って入場行進の練習をしました。本番はもうちょっとかっこよく入場しました。入場が終わった後は、20分ほど時間があつたので、タスキを渡す練習をしました。5分前になった時は、ちょっと緊張感があつたけど、スタートした頃には緊張がなくなって、強気が出せました。走っている時に応援をしてくれていたの、私は頑張らないと、と思いました。キャプテンとしてみんなよりも頑張ったり、いっぱい走ったり、いっぱい応援したりしました。みんなと協力して走ったり、応援しあつたので、優勝が出来たんだな、と思いました。楽しい1日でした。

(小5 T・M)



第1回愛育園リレーマラソン大会がありました。前々から準備してきた旗も、頑張って作りました。練習はきつくても、歯を食いしばってやったことは思い出です。大会前日、大丈夫かな?と思って日課を過ごしていました。みんなに迷惑をかけずに出来るだけ早いタイムで帰って来るのが私の目標でした。大会当日は、朝が少し早くて、準備するものもたくさんありました。開会式をやり、

各グループで準備運動をしました。私のグループのトップバッターはRちゃんでした。トップバッターは1番緊張するのに、堂々と立って走る準備をされていてかっこよかったです。始まってから1時間半くらい経つと、接戦になってきました。小学生チームの力はすごいと感じさせられました。惜しくも優勝は出来なかったけど、走った後は誇らしかったです。走ったあとはおいしいご飯を食べました。みんなで力を合わせた後に食べるご飯は世界一です。来年も頑張って、優勝したいです。

(中1 M・M)

7月13日に愛育園リレーマラソンがありました。私はまごころの中高生と職員と一緒にチームでした。初めは緊張していたけど、走っている時にチームのみんなが応援してくれて、最後まで走れたので良かったです。走っていない時は、応援や、サポートをしっかりやる事が出来て良かったです。

す。本番だけじゃなく、練習やミーティング、旗を作る時なども全力で出来たので良かったです。私は2回走ったけど、いつもの練習より速く走れたので良かったです。小学生チームに負けてしまって悔しかったけど、全力で出来たので良かったです。表彰式の時に、敢闘賞で名前を呼ばれてびっくりしたけど、メダルをもらえてすごく嬉しかったです。次回は小学生チームに勝てるように頑張りたいです。

(中2 A・O)

あおぞら行事プロ野球観戦

あおぞらホーム 倉島誠

7月15日にあおぞらホームの男子達で、ヤクルトスワローズ対読売巨人の試合観戦へ行ってきました。小学6年生のY君はヤクルトスワローズの大ファンで、間近で見ると大好きな選手を見て大興奮していました。応援の掛け声も口ずさみながらみんなで応援し、一球一球に一喜一憂する姿がとても印象的でした。少年野球をやっている子の中にも、将来の夢は「プロ野球選手!」と答える子がいます。スポーツを通して、たくさんの人を喜ばせることがいかに大変で、どれだけ努力を積み重ねて、その場所に立っているのか。まだ理解するには難しいかもしれませんが、これを機に、少年野球への取り組む姿勢が変わってくれたらなと期待しています。特典で頂いたユニフォームを大事そうに部屋に飾る子ども達の姿を見て、連れていけてよかったなと感じました。また機会があつたらみんなで観戦に行きたいなと思います。



地区ボーリング大会

あおぞらホーム 山田忍

7月21日 西横田地区のボーリング大会に小学生と参加してきました。地区の子ども達と愛育園の男子チーム、女子チームの計5チームで戦いました、約1年ぶりのボーリング大会でみんなとても盛り上がりました、地区の子も小さい子が意外と上手だったり、普段運動が得意な子がなかなかいいスコアが出なかったりとそれぞれに楽しく過ごすことが出来ました。地区のPTAからおやつと飲み物、お昼にはポテトとハンバーガーまで出して頂きました。自分としては地区の子もいる中で園の子をまとめられるか心配でしたがみんな挨拶もでき、マナー良く過ごせていたと思います。地区の方々、楽しい行事を計画して頂き本当にありがとうございました。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 近藤誠志郎

6月30日にホーム食を行いました。今回、あおぞらでは『軍艦巻き』を手作りしました。軍艦の上に乗っける具材も手作りしました。定番のツナマヨやコーン、ねぎとろの他、カレーやベビースター豆腐という変わり種も作るなど、全部で12種類ほどの具材ができました。子どもたちは軍艦を作るのに、初めは形を整えるのに苦戦している姿がありましたが、慣れてくるととても素早く作り上げることができ、予定していた時間よりも早く作り終えることができました。どの具材も美味しく、みんな大満足のホーム食だったと思います。



一学期が終わり、夏休みに入りました。子どもたちは夏休みの宿題に取り掛かります。愛育園の子どもたちの大半は宿題への取り組みが本当に早く、例年お盆までには全部やり終えています。今年もみんな一生懸命に勉強しています。中学三年生のK君とN君は受験生です。夏休みに入り、希望している高校への体験入学にも行っています。「夏を制する者は受験を制す」、ぜひともこの夏休み、必死に勉強に打ち込んでもらいたいです。

愛育園の夏休みと言えば、毎年8月上旬に予定しているキャンプ行事です。今年も例年通り行く予定であり、今から子どもたちは、食事は何を食べるか、グループ行動の時は何をするかの話をしています。今年のキャンプも最高の思い出にできるよう準備を進めていきたいと思っています。暑い夏となりますが、そんな暑さも吹き飛ばすほど元気よく夏休みを子どもたちと過ごしていきたいです。

まごころホームだより

まごころホーム 橋本雅

梅雨が明け毎日暑い日が続いていますが、子ども達は元気に過ごしています。先日、一学期が終わり、夏休みを迎えました。一学期最終日には、通知表を持って帰園してきました。通知表には、子ども達の頑張りが表れていてとても嬉しく感じます。また、皆勤賞の子も多くとても頑張ったなと感じています。

夏休みが始まり数日経ちました。毎日、宿題を進めたり、プールに出かけたりと充実した夏休みを過ごしています。また、八月にあるキャンプに向けて話し合いや旗の制作など準備を進めています。楽しみにしているキャンプ行事に向けて、子ども達と一緒に準備を進めていきたいと思っています。

猛暑日が続いていますが、体調には気を付け、それぞれの目標や夢に向かって充実した夏休みを過ごしてほしいです。子ども達と沢山の思い出を作りたいです。

調理室だより

調理員 松本智草

今年は「梅雨らしい梅雨」となり、雨や曇りが多く、お日様が恋しい日が続きました。

湿度が高くなると食中毒などのリスクも高まることから、衛生管理に特に注意を払いながら調理作業に臨む毎日でした。

園における太陽は「子供たちの笑顔」です。

毎日の食事を通じて子供たちの笑顔と元気な姿が見られるよう、一生懸命腕を振るって食事の支度に務めました。

主なメニューは、7/1 R君誕生日メニュー／つけ麺・鶏のささみサラダ・ガトーショコラ、7/7 七夕特別メニュー／七夕ちらし寿司・そうめん汁・七夕デザート、7/12 R君壮行会メニュー／サラダうどん・油淋鶏・すいか・ジュース、7/17 通明小学校懇談会メニュー／(夕食)ざるうどん・かき揚げ・海老の天ぷら・海苔の天ぷら・竹の子とさばの和え物、7/27 K君誕生日メニュー／オムゲッティー・油淋鶏・マセドアンサラダ・チョコバナナ、でした。

そろそろ梅雨明けを迎えることとなり「夏本番」の時期を迎えますが、子供たちが暑い夏も元気で乗り切れるよう、美味しい食事を提供するべく精進してまいります。

